

「この街」のために。「あなた」のために。

そっこう[®]

S O U K O U

社会医療法人 壮幸会

行田総合病院

TEL : 048-552-1111

2018年12月号(月刊) 発行: 社会医療法人 壮幸会 行田総合病院



巻頭特集：2018年の行田総合病院

特集：ペプシノゲン検査って？～消化器内科からのお知らせ～

12月

2018 / vol.046



5～6月

5月：小児科常勤医師入職。血管撮影室増設／バイブレーション血管撮影装置稼働開始（写真）。『埼玉北部がん免疫療法セミナー』で消化器外科医師が講演。6月：『埼玉県北吸入ネットワーク研究会』で呼吸器内科医師が講演。危険物安全協会より災害未然防止基準優良の表彰を受ける。



4月

消化器内科・消化器外科・呼吸器内科・泌尿器科・脳神経外科・血管外科・麻酔科の常勤医師が入職。『第5回肝臓病教室』開催（写真／第6回は10月に開催）。『糖尿病領域学術講演会』『診療報酬勉強会』開催。リハ科『症例発表会』開催。



7月

7月：泌尿器科ロボット支援手術 100 症例記念 Special Award を受賞（写真）。『北埼玉腹腔鏡手術懇話会』で消化器外科医師が講演。リハ科『全体会議』施行。脳神経外科主催による『七夕コンサート』を鴻巣市花久の里で開催。



6～7月

6月：『行田地域循環器セミナー』で理事長・脳神経外科医師が講演。『行田市消化器疾患懇話会』で消化器内科医師が講演。7月：手術室拡張、全5室に（写真）。『接遇勉強会』開催。



10～12月

10月：総合内科常勤医師・循環器内科常勤医師入職。第3回院内コンサート協催（写真）。『北部肝胆膵癌懇話会』で消化器外科医師が症例発表。11月：『ふるさとチョイス』の納税返礼に各種検査を登録。12月：ハンドベルコンサート開催。



8～9月

8月：BLS/AED 講習会施行（写真）。9月：呼吸器内科常勤医師入職。秋の防災訓練施行（春は4月に施行）。『さきたま慢性疼痛研究会』で整形外科医師が講演。『救急隊員勉強会』で救急総合診療科医師が講演。



2018年の行田総合病院。

MERRY CHRISTMAS & HAPPY NEW YEAR

地域のために。あなたのために。未来のために。

2018年も24時間365日の診療体制を維持することを使命とし、地域医療支援病院・災害拠点病院・埼玉県救急搬送困難事案受入病院であり、埼玉県北で一般病床504床を誇る中核病院としての責務を果たして参りました。『あの病院があるから安心』と思っただけの事を目標に、最新の医療機器の導入や施設拡充を行い、安心して暮らせる街づくりに協力し続けます。それでは、行田総合病院の2018年を写真で振り返ってみましょう。



4月

新入職員 103名（初期研修医4名、看護師44名、准看護師3名、看護助手5名、薬剤師1名、リハビリセラピスト27名、臨床工学士2名、臨床検査技師3名、診療放射線技師3名、社会福祉士2名、事務スタッフ8名他）が入職。



1～4月

1月：血管外科常勤医師入職。2月：『県北地区肝疾患研修会』で消化器内科医師が講演。3月：『北埼玉医師会学術講演会』で泌尿器科医師が講演。4月：『行田市鉄剣マラソン大会』に参加（写真）。

胃がん検診や血液検査で行われている

『ペプシノゲン検査』って?」



消化器内科
内視鏡センター長
芹澤昌史 医師

Q & A

Q健康診断の結果で「ペプシノゲン検査が陽性である」といわれました。

どうしようでしょうか?

A萎縮性胃炎になっている可能性が考えられます。

萎縮性胃炎とは、胃の粘膜に長期間にわたって炎症が生じることで、粘膜が壊されたり修復したりすることが繰り返さ

れ、胃の粘膜が薄くなった状態のことをいいます。萎縮性胃炎になる原因としては、ヘリコバクター・ピロリ菌(以下ピロリ菌)があげられます。ピロリ菌に感染していると、慢性活動性胃炎と呼ばれる持続的な炎症を引き起こします。そして次第に胃の粘膜が萎縮し、胃がんが発

生しやすくなります。

人の胃に入り込むのでしょうか?

A口から入って感染します。

それでは、生水を飲んだり、キスでピロリ菌に感染してしまうのでしょうか? 上下水道の完備など生活環境が整備された現代の日本では、生水を飲んでピロリ菌に感染することはないと考えられて

います。また、大人になってからの日常生活・食生活ではピロリ菌の感染は起こらないと考えられます。ピロリ菌は、ほとんどが幼児期に感染すると言われています。幼児期の胃の中は酸性が弱く、ピロリ菌が生きのびやすいためです。そのため最近では母から子へなどの家庭内感染が疑われていますので、ピロリ菌に感染している大人から小さい子どもへの食べ物への口移しなどには注意が必要です。

↓「胃がんのリスクがある」 ↓「胃の内視鏡で精密検査してもらおう」とお考えください。

ペプシノゲン検査は、萎縮性胃炎の可能性を推測し、胃がんかもしれないということを教えてくれる検査です。直接胃がんを調べているわけではありません。胃がんを予防していくために、「まず内視鏡検査を受けて胃がんができていないか確かめる」「ピロリ菌の有無を確認し、感染があれば除菌治療を行う」この2つ

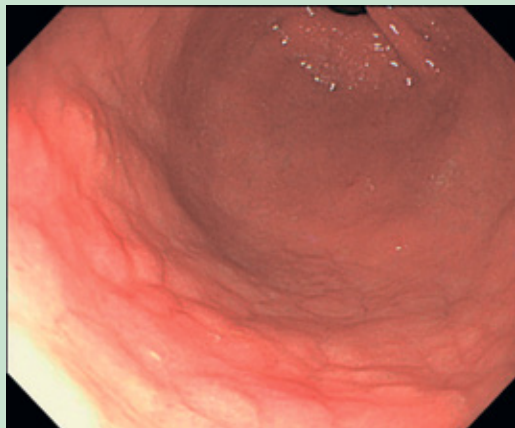
Qペプシノゲン検査が陽性だった場合、どうすればいいの?

Aまずは当院消化器内科医師へご相談ください。

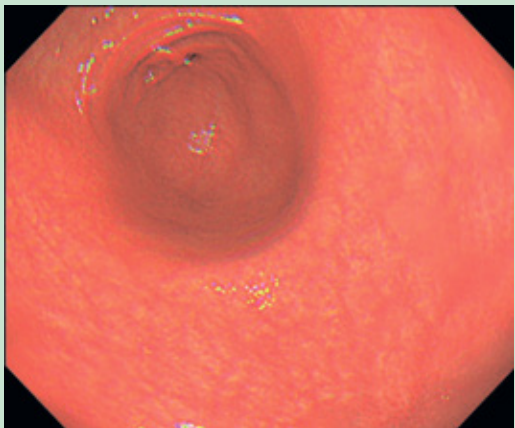
「ペプシノゲン検査で陽性と言われた」 ↓「萎縮性胃炎があるだろう」 ↓「ピロリ菌がいるかもしれない。もしくはいた

が大切です。

※萎縮性胃炎の診断はあくまで胃の内視鏡検査または造影検査を行った上で判断されます。それらの検査を行わずにピロリ菌感染の診断やピロリ菌除菌治療を保険診療で行うことはできません。



萎縮性胃炎あり (ピロリ菌陽性)
胃粘膜が薄くなり(萎縮) ゴツゴツした変化も出てきている様子がわかります。



萎縮性胃炎なし (ピロリ菌陰性)
胃粘膜は厚みを保ち、均一な肌色である様子がわかります。

NEWS & TOPICS

2018.10-2018.11

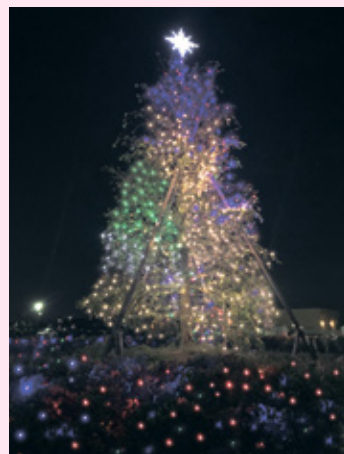
第32回 行田市事業所対抗初期消火訓練大会 行田市消防本部庁舎南側訓練場



2018年10月22日(月)
毎年参加しています！

市内の事業所(約20社)が参加し、チームで初期消火の速さと正確さを競う訓練。火災発生時に消防用設備等が適切に取り扱えるように、屋内消火栓設備等の操作技術の向上と防火意識の高揚を目的に開催されています。新人4名で結成された当院チームと介護保険施設心春チームは、残念ながら上位入賞とはなりませんでしたが、正確な操作技術を身に付けました。

クリスマスツリー 今年も鮮やかに点灯！



2018年11月1日(木)
植込みにもLEDを増設！

昨年豪華になった当院のクリスマスツリー。今年にはさらにLEDの数を増やしました。2019年の2月頃まで毎夜点灯しています。

最新型骨密度測定装置導入 放射線課



2018年11月25日(日)
QDR Horizon-Ci型

(ホロジック社製)を新規導入しました。腰椎・大腿骨計測で部位相関の精度も向上、測定は1部位最短30秒。胸部レントゲンの約1/7のX線量で安全な検査が行えます。骨密度を正確に測定することにより、骨粗鬆症の早期発見、早期治療を可能にします。

第3回 院内コンサート 新南棟1Fロビー



2018年10月25日(木)
行田市民吹奏楽団と共催

第3回目の院内コンサート。今回は行田市民吹奏楽団から10名のプレイヤーが来てくれました。過去最多人数による院内での演奏は迫力がありました！日本の曲メドレーでは、体でリズムをとる方や一緒に口ずさむ患者さまも。天空の城ラピュタメドレーでは、会場が温かい空気に包まれ、改めて音楽が持つ力の大きさを感じさせられました。聴きにきてくださる地域の方々も回を追うごとに増えております。来年もまた宜しく願いいたします！

COLUMN

ドクターやナース、コメディカルの日常、大げさにいえば人生観まで。
好評につき、毎号連載中！

2018年を振り返って。

今年も色鮮やかな紅葉の季節を迎え、外を歩くと時より吹く風は冷たくなり、澄み切った冬の夜空を感じられるようになってきました。新南棟のロータリーには毎年恒例のクリスマスツリーも点灯しており一年の節目を迎えようとしています。

それでは今年の出来事を思い返してみましょう。

- 1月 関東甲信越で大雪/草津白根山で噴火
- 2月 上野動物園のパンダ「シャンシャン」公開/福井で記録的な大雪
- 3月 森友学園をめぐる財務省決裁文書改ざん
- 4月 北朝鮮が核・ICBM実験を中止/大分で山崩れ
- 5月 パリ中心部で通行人襲撃/日大アメフト悪質タックル/ヘンリー英王子挙式
- 6月 大阪で震度6弱の地震/米朝首脳、史上初の会談/金井宣茂さん宇宙長期滞在より帰還
- 7月 西日本豪雨/熊谷で国内最高気温41.1度を記録/カジノ法成立
- 8月 東京医大不正入試/群馬県で防災ヘリ墜落
- 9月 北海道で震度6強の地震/台風21号・24号上陸/安室奈美恵さん引退/大阪なおみさん日本勢初の4大会優勝
- 10月 築地市場83年の歴史に幕/免震データ改ざん/安田純平さん解放/本庶佑さんノーベル医学生理学賞受賞
- 11月 天皇譲位と皇太子の天皇即位に伴う2019年のGWを10連休とする法案を正式に制定
日産カルロス・ゴーン氏報酬過少申告疑いで逮捕



行田総合病院 理事長
川嶋賢司

昨今の頃は、『陸王』の撮影が市内各地で行われていたこともあり賑やかな雰囲気を感じておりました。

今年も『下町ロケット2』など、数本のドラマの撮影が行われているようです。ロケ地巡りに訪れる方を見かけたりして行田市に新たな魅力が生まれたのでは？と感じています。行田市は人口約8万人の都市であり決して大きな街ではありません。しかしながら、さきたま古墳や古代蓮の里、忍城など古き良き歴史・文化が存在し、蔵や歴史的建造物を利用したカフェやトラットリアがオープンするなど活気にあふれています。

当院も今年で30周年を迎えました。これもひとえに行田総合病院を長年にわたり支えて頂いております、地域の皆様のお力添えあつてのことであり、心より深く感謝、御礼申し上げます。

来年は、元号を改める「改元」を行う節目の年でもあります。

当院も31周年目となり新たなスタートとなります。

ADVERTISING

院内・院外からの広告を受付けております。



【illustration】足がだるい重い.biz

◎「下肢の血管専門外来」／血管外科からのお知らせ ところで、『足のむくみ』が気になっていませんか？

一過性ではなく数日間『足のむくみ』が続くような場合には病気の可能性があります。

- ・足がだるい
- ・足の血管がポコポコと浮き出ている
- ・夕方になると足がむくむ
- ・夜間に足がつりやすい

このような症状を少しでも感じたら受付窓口にご相談ください。

血管外科医による診察を行っております。

【行田総合病院「下肢の血管専門外来」／血管外科】

◎内視鏡センターからのお知らせ（▶ P4-5 に関連記事あり）

早期がんを発見するために年に1度の内視鏡検査をおすすめします！

◎患者さまから多いご質問

Q. 「内視鏡は苦しい ...」と聞きますが？

A. できるだけ苦痛を軽減させるようにしておりますが、ご不安の強い方には適度な麻酔薬の使用（眠った状態での検査）も可能です。また、経鼻内視鏡もご用意しておりますので医師にご相談ください。

Q. がん治療＝お腹を切る大きな手術なのでは？

A. 早期発見できれば、**お腹を切らずに**内視鏡で治療が可能な場合があります。また、入院日数も1週間前後で退院できます。

▶事前診察・内視鏡検査のご予約は、**行田総合病院内視鏡センター直通ダイヤル TEL.048-552-1172**

◎頭痛外来／脳神経外科からのお知らせ

毎週火曜日の午前中に頭痛外来を行っています。

●誰もが経験のある頭痛。

『頭痛くらいで ...』と思わないで、一度「頭痛外来」を受診してみてください。



まずはあなたの頭痛が「他の病気が引き起こしている頭痛」なのか「多くの人を悩ませている慢性頭痛」なのかを問診・診察・検査を通して判断します。

●「他の病気が引き起こしている頭痛」の場合

その原因となっている病気を治すことが治療の目的となります（例：風邪、発熱などのほか、稀にくも膜下出血、脳出血、脳梗塞、脳腫瘍、髄膜炎など、危険な病気も含まれます）。

●「多くの人を悩ませている慢性頭痛」の場合

治療目的はその頭痛自体をコントロールする事が重要となります（例：偏頭痛、緊張型頭痛、群発性頭痛など）。

頭痛外来では、頭痛全般について診断を行い、病状によっては適切な診療科を紹介させていただきます。

【行田総合病院「頭痛外来」／脳神経外科】